

科目名	ゼミナール(山路)
教員名	山路 千華

【授業の内容】

絵本やお話し、手遊びや遊戯、遊具や玩具など、子どもの文化財は豊富にあり、その活用方法や場面も多岐に渡ります。これら「子ども文化」の概念には、子どものためにおとなが創って与える文化と、子どもみずからが創造する文化の2つの視座がありますが、本ゼミナールでは、その両側面から研究を進めていきます。学生自らがそれら文化財に出会う体験的な学習を通し、文化的価値を見出す感性を育みながら、次年度に繋がる研究テーマをみつけ、決めていきます。また、ディスカッションを通し、体験学習から感じたことを他者に伝えたり、想いを共有し共感したりしながら、研究テーマの学習を掘り下げ、文献の検索や事例観察のフィールドを探す等の研究に必要な基礎力を培っていきます。

【到達目標】

1. 自分なりの保育観や子ども観を言葉や文章で表現することができる。
2. 子ども文化財、保育文化財を中心に、自身の探求したいテーマを見つけることができる。
3. 次年度の卒業研究に向けて、基礎的な研究方法を身に付ける。

【授業計画】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 問題意識やテーマの方向性についての検討
- 第3回 自身のテーマに基づく体験学習の企画・方法の検討
- 第4回 テーマや問題意識、学習計画の紹介と共有①
- 第5回 テーマや問題意識、学習計画の紹介と共有②
- 第6回 テーマや問題意識、学習計画の紹介と共有③
- 第7回 体験学習の年間計画と役割分担、手続きの確認
- 第8回 体験学習①の調べ学習と、しおり作り
- 第9回 体験学習①
- 第10回 体験学習①の振り返り
- 第11回 体験学習②の調べ学習と、しおり作り
- 第12回 体験学習②
- 第13回 体験学習②の振り返り
- 第14回 体験学習の意義・研究テーマについてのディスカッション
- 第15回 前期のまとめ
- 第16回 後期のゼミナール学習計画の確認
- 第17回 体験学習③の調べ学習と、しおり作り
- 第18回 体験学習③
- 第19回 体験学習③の振り返り
- 第20回 体験学習④の調べ学習と、しおり作り
- 第21回 体験学習④
- 第22回 体験学習④の振り返り
- 第23回 体験学習の意義・研究テーマについてのディスカッション
- 第24回 研究テーマの確認と研究計画案の作成
- 第25回 個人研究①
- 第26回 個人研究②
- 第27回 個人研究の進捗状況の発表と意見交換①
- 第28回 個人研究の進捗状況の発表と意見交換②
- 第29回 個人研究の進捗状況の発表と意見交換③
- 第30回 1年間のまとめ

【教科書(必ず購入すべきもの)】

- ①タイトル ②著者名 ③出版社 ④出版日付 ⑤価格 ⑥ISBN
 ①絵本から学ぶ子どもの文化 ②浅木尚美 ③同文書院 ④2015 ⑤1998 ⑥978-4810314397
 ①よくわかる卒論の書き方 ②白井利明・高橋一郎 ③ミネルヴァ書房 ④2016 ⑤2500 ⑥978-4-623-06572-1

【具体的な評価方法・基準及び評価比率】

定期試験 0% 授業内小試験 0% レポート・課題 50% 受講態度 50%
 特記事項
 各自の研究テーマに合わせ検討します

【履修上の心得】

体験学習は全員参加を基本とします。体験学習は計画に基づき実施され、終了後にはドキュメンテーションの作成カレ

ポート課題を提出します。体験学習で学びを深めながら研究テーマを常に自身に問うことを心がけ、興味関心に基づいた研究に邁進できる自分づくりをしていってください。
様々な事象に文化的価値を見出すことで視野が広がり、新たな自分が見つかるかもしれません。